

令和6年度 小・中学校人権教育研修C 実施要項
(在日外国人教育)

1 目的 外国にルーツのある子どもたちの人権をめぐる現状やヘイトスピーチ解消法を踏まえ、多文化共生と人権尊重の観点に立った在日外国人教育を進めるために、学校の果たす役割について認識を深め、違いを認め合い共に育つ学校づくりのための具体的な取組みについて考える。

2 対象 小・中学校、義務教育学校の教職員 各市町村1名以上

3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	10月3日(木) 14:00～17:00	大阪府における在日外国人教育の現状と課題 実践発表 誰もが『自分』を生きる力を 一人権が尊重される多様性社会をめざして— 〔講義・実践発表〕	大阪府教育庁 指導主事等 府内小・中学校教職員 公益財団法人とよなか国際交流協会 事業主任 三木 幸美

4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区荻田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

5 その他 (1) 受付は30分前から。
(2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
(3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
(4) 事前に準備しておく事項があるので、教員研修プラットフォームを必ず確認すること。

6 担当室 人権教育研究室

令和6年度 小・中学校人権教育研修C シラバス
(在日外国人教育)

1 目的

外国にルーツのある子どもたちの人権をめぐる現状やヘイトスピーチ解消法を踏まえ、多文化共生と人権尊重の観点に立った在日外国人教育を進めるために、学校の果たす役割について認識を深め、違いを認め合い共に育つ学校づくりのための具体的な取組みについて考える。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期	○								○				○		○
第1期															
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	大阪府における在日外国人教育の現状と課題	大阪府の在日外国人教育の現状と課題について理解する。	講義を通して、ヘイトスピーチに関する法律や府の条例等を踏まえ、大阪府における在日外国人教育の現状と課題について学ぶ。	事前課題 人権教育リーフレット「韓国・朝鮮につながる子どもの人権①②」、「帰国・渡日の子どもたちの教育①②③」、「マイクロアグレッション」、「アンコンシャス・バイアス」を読んでおく。
	在日外国人教育を進めるために	<ul style="list-style-type: none"> 在日外国人教育を進める際に大切にしたい観点や、教職員に求められる役割について認識を深める。 外国にルーツのある子どもたちの生きづらさを知り、社会の課題について考えるとともに、多文化共生の観点で取組みを進める大切さについて認識を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 実践発表を通して、違いを認め合い共に育つための在日外国人教育の具体的な取組みについて学ぶ。 講義を通して、外国にルーツのある人たちの人権に関わる社会の課題やその解決のために学校でできることについて学ぶ。 	